

平成25年度 市民公開講座

今を問う

—私たちの暮らしと医療被ばく—

平成23年3月11日の東日本大震災に伴って発生した福島第一原子力発電所事故により、日本国民にとって、『放射能・放射線』は切っても切り離せないものとなりました。放射線の健康影響については負のイメージから始まるものであるため、放射線を得体のしれない不明確なものとして漠然と「怖い」「危険」と考えられており、現在でも多くの国民の皆様が、氾濫した情報の中で、何が正しく何が誤りなのかを判断できない状況にあります。

本講座では、放射線の健康影響や、身の回りにおける放射線、医療放射線と被ばくについてお話しすることで、一般市民の皆様が放射線について正しく理解し判断する機会を提供いたします。

【日時】平成25年10月19日(土) 13:00~16:00 (開場 12:30)

【会場】アクロス福岡 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号
TEL 092-725-9111 <http://www.acros.or.jp/>

参加費：無料
事前申込：不要
(先着300名まで)

お問い合わせ先：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町167 ビューフォート五条烏丸3階

TEL：075-354-8989 FAX：075-352-2556 e-mail：office@jsrt.or.jp

総会

総会病院 国保旭中央病院 五十嵐 隆元
九州大学病院 中村 泰彦

プログラム

- 講演1 放射線の健康影響 —エビデンスにもとづいて—
放射線医学総合研究所 島田 義也
- 講演2 暮らしの中の放射線 —自然放射線と環境被ばく—
放射線医学総合研究所 田上 恵子
- 講演3 医療の中での放射線 —医療放射線と医療被ばく—
千葉大学医学部附属病院 加藤 英幸



主催：公益社団法人 日本放射線技術学会

後援：福岡県、福岡市、公益社団法人福岡県医師会、公益社団法人福岡県診療放射線技師会、公益社団法人福岡県看護協会、社団法人福岡県臨床衛生検査技師会、公益社団法人日本医学放射線学会、一般社団法人日本医学物理学会、一般社団法人日本画像医療システム工業会、西日本新聞社、NHK 福岡放送局、福岡放送、RKB 毎日放送、テレビ西日本、九州朝日放送、TVQ 九州放送